

地域再生計画

- 1 地域再生計画の名称
愛知県次世代産業事業化推進計画
- 2 地域再生計画の作成主体の名称
愛知県
- 3 地域再生計画の区域
愛知県の全域
- 4 地域再生計画の目標

- (1) 背景

～万博後における新たな産業振興施策の推進～

愛知県では、平成17年に中部国際空港の開港と2005年日本国際博覧会（愛知万博）の開催という二大プロジェクトを実現したが、これに先立つ平成17年1月にこれらのプロジェクトが地域にもたらす成果を予測し、それを地域の継続的な発展に結びつける新たな産業振興施策の指針として「愛知県産業創造計画」を策定している。

今後は、この計画を踏まえ、本県の「強み」である自動車産業を始めとする厚い産業集積を土台としつつ、二大プロジェクトの成果を活かして、国際競争力のある次世代産業育成に取り組むことが求められている。

- (2) 次世代産業創出に向けた地域の取組の現状

愛知県を始めとする東海地域では、自動車、金属工作機械、電子部品等の多種多様で厚みのある既存のモノづくり産業の集積を最大限に活用し、高度精密加工、新素材、IT等といった分野で、高度な「ものづくり産業クラスター」の創生を目指す「東海ものづくり創生プロジェクト」や新たな産業の柱として期待されるバイオ産業の育成を目指す「東海バイオものづくり創生プロジェクト」が経済産業省（中部経済産業局）等により展開されている。また、愛知・名古屋地域知的クラスター創成事業として、(財)科学技術交流財団にクラスター本部を置き、「名古屋ナノテクものづくりクラスター」が進められているところである。

こうした産業クラスター、知的クラスターの活動の成果として、企業・研究者への訪問、産学交流会・マッチング等の開催、新技術シーズの実用化などで高い成果が生まれているほか、愛知県内における大学発ベンチャー企業総数64社（平成17年度末）の創出に貢献している。

(3) 目標

～世界最高水準の研究開発拠点を活用した「次世代産業の創出・育成」～

愛知県の万博後における産業振興施策の柱は、「健康長寿産業」、「環境・エネルギー産業」、「ライフ・クオリティ産業（デジタルコンテンツ・デザイン・パートナーロボット）」、「航空宇宙産業」といった次世代を担う産業の集積を目指すとともに、これら産業の原動力となる「バイオテクノロジー」、「ナノテクノロジー」、「IT」などの先進的な基盤技術の研究開発を一層推進させることである。

そのため、(財) 科学技術交流財団を推進組織として名古屋大学、名古屋工業大学、豊橋技術科学大学、その他理工系学部を有する私学などの大学や民間企業とのネットワークによる研究開発を推進するとともに、世界をリードする産業技術の中核圏域の形成を目指して、新たな「次世代モノづくり技術の創造・発信の拠点」として、「知の拠点」の整備に向けて検討を進めているところである。その中核施設となる「科学技術交流センター（仮称）」については平成22年度の供用を目指している。

この地域再生計画は、このように充実強化を進めている高度な研究開発機能を活かして、効果的に次世代産業の創出・育成を推進するため、次のような目標を設定し、「愛知県産業創造計画」が示す戦略的重点分野（※）における研究・技術開発の拡大、外国人研究者を含む産学官連携従事者の充実強化及び新規事業の創業・事業化の促進を目指しており、この目標をより効果的に達成するため、県独自の取組みを推進するとともに、地域再生の支援措置を活用しようとするものである。

※ 「愛知県産業創造計画」が示す戦略的重点分野とは、次世代産業分野である「健康長寿」、「環境・エネルギー」、「ライフ・クオリティ」（デジタルコンテンツ・デザイン・パートナーロボット）の3分野、基盤技術分野である「バイオテクノロジー」、「ナノテクノロジー」、「IT」の3分野をいう。

【目標1】

県内の大学や民間企業との研究・技術開発の拡大

（共同研究数：平成16年度 年間525件 → 平成22年度 年間1,000件）

【目標2】

産学官連携従事者の充実強化

（コーディネーター数（バイオ分野）：平成18年度16人→平成22年度45人）

（外国人研究者受入件数（延べ数）：平成18年度1,153件→平成22年度1,379件）

【目標3】

新規事業の創業・事業化の促進

(大学発ベンチャー企業総数：平成17年度 64社 → 平成22年度 100社)

数値目標1・3は、戦略的重点分野以外の分野を含んだ数値ではあるが、戦略的重点分野の進展を把握する上で重要な参考情報であることからこの数値を採用することとした。

数値目標2は、NPOバイオものづくり中部及び県内関係大学に対するヒアリングによるもの。

5 目標を達成するために行う事業

5-1 全体の概要

この計画の目標を達成するため、次の3つの課題を設定して、その解決を指向した事業展開を図ることとする。

(1) 戦略的重点分野におけるベンチャー企業等の人材育成・確保

「大学発ベンチャーに関する基礎調査」(平成18年5月 価値総合研究所)によれば、大学発ベンチャーが直面する課題は、①人材の確保、②資金調達、③販路開拓の3つに集約されている。中でも人材確保については、研究開発及び営業人材に対するニーズが高く、営業人材の獲得率が低くなっている。

名古屋大学では、平成18年度にノン・リサーチキャリアパス支援事業により、博士学位取得者を対象に、研究職以外で専門知識を活かす職業への就職支援事業を実施し、ベンチャー企業等の人材確保に貢献しているが、戦略的重点分野におけるベンチャー企業等では、さらに経営者のマネジメントを的確に支援できる人材を必要としており、そうした人材確保の観点から、今後大学との連携のほかこうした取組み推進するNPOを支援していく必要がある。

また戦略的重点分野等における研究・技術開発を促進する観点から、県内大学・企業等の外国人研究者の確保を支援していく必要がある。

(2) 戦略的重点分野におけるベンチャー企業等と支援機関の連携の強化

愛知県内には、製品開発、資金調達、販路開拓等様々な角度からベンチャー企業を含む中小企業を支援する支援機関が多数存在し、大学においても産学官連携の推進とともに、ベンチャー企業支援が展開されており、全体としてその支援施策はかなり充実していると考えられる。こうした支援機関等の支援メニューには類似したものもあり、手続が個々の団体で行われるため、利用者側から極めてわかりにくい状況にあると言える。

地域を挙げて次世代産業の振興に取り組む観点から、その担い手である戦略的重点分野におけるベンチャー企業等と支援機関等の連携強化に取り組む必要がある。

(3) 大学の研究成果を活用した地域との連携の強化

豊橋市を中心とした東三河地域は、輸送機械、一般機械など多様な産業が立地しているとともに、日本を代表する農業地域でもある。現在豊橋技術科学大学・豊橋サイエンスコアを中心として新産業づくりに向けた研究交流・研究活

動が展開されており、とくに豊橋技術科学大学では、未来の自動車を研究する「未来ビークルリサーチセンター」や地域社会のニーズに柔軟に対応できる分野横断的研究組織「地域協働まちづくりリサーチセンター」を設立し、地域社会貢献に向けた取組みを強化しているところである。

さらに今後の新たな展開として、農業地域として高いポテンシャルを持つ東三河地域の特性を活かす観点から、豊橋技術科学大学の工学技術を農業分野に応用して新製品開発や人材育成に取り組むことが検討されており、平成18年10月にはその拠点施設として、「先端農業・バイオリサーチセンター」の設立も予定されている。

このような大学の地域社会貢献に向けた取組みは、戦略的重点分野におけるベンチャー企業等の活動を通じて社会に還元されるものであることから、こうした取組みを後押しすることにより、愛知県地域全体の産業活性化に繋げていく必要がある。

5-2 法第4章の特別の措置を適用して行う事業

該当なし

5-3 その他の事業

5-3-1 基本方針に基づく支援措置

【外国人研究者等に対する永住許可弾力化事業】

1) 支援措置の番号及び名称

番号 B0501

名称 外国人研究者等に対する永住許可弾力化事業

2) 支援措置を受けようとする者

下記3の施設において研究活動又は研究事業活動に従事又は従事予定の外国人研究者

3) 対象となる機関

「健康長寿」、「環境・エネルギー」、「ライフ・クオリティ」、「バイオテクノロジー」、「ナノテクノロジー」、「IT」の分野に係る外国人研究者の受入れを促進することにより、即戦力となる国際レベルの優秀な人材を確保し、受入れ先における研究開発の活発化とその成果を生かした新産業の創出が見込まれる次に掲げる大学、研究機関

○機関名 国立大学法人名古屋工業大学

施設名	所在地	外国人の活動の内容	機関の概要
工学研究科	名古屋市昭和区御器所町	「健康長寿」、「環境・エネルギー」、「ナノテ	[健康長寿] 名古屋大学医学系研究科と

		クノロジー」、「IT」に関する研究活動及び研究成果を活用した事業活動	<p>も連携し、工学と医学の異分野融合により新しい学問領域の開拓と新産業の創出を推進しており、名古屋市鶴舞地区を中心に医学工学連携の中核的な役割を担っている。</p> <p>[環境・エネルギー] エネルギーの再生・再利用あるいは循環を基本とする循環型スタイルの確立が社会の潮流となりつつある情勢を踏まえ、循環科学技術を創成し、循環型社会の実現に向けた研究に取り組んでいる。</p> <p>[ナノテクノロジー] 知的クラスター創成事業、21世紀COEプログラムを活用したナノテクノロジーの研究を推進し、新産業、ベンチャーの連鎖的発生環境の形成を目指し、併せて製造業全体の国際競争力の向上を図る。</p> <p>[IT] 人類社会環境の発展と調和を目指し先端的高度情報化の社会形成のための研究開発を行っているが、今後は、医療工学連携とともにユビキタスネットワーク社会の実現へと発展させていく。</p>
--	--	------------------------------------	--

○機関名 愛知県公立大学法人愛知県立大学

施設名	所在地	外国人の活動の内容	機関の概要
情報科学研究科	愛知県長久手町大字熊張字茨ヶ廻間1522-3	「環境・エネルギー」、「IT」に関する研究活動及び研究成果を活用した事業活動	<p>[環境・エネルギー] [IT] 地理情報システムによる森林成長解析技術に関する中核的研究施設であり、里山の緑の保全システムの開発や里山の緑及び内湾域環境の保全システムの確立を行う。</p> <p>[IT] 移動体通信と有線通信の融合システムの開発を行っている。</p>

○機関名 公立大学法人名古屋市立大学

施設名	所在地	外国人の活動の内容	機関の概要
医学研究科	名古屋市瑞穂区瑞穂町字川	「健康長寿」に関する研究活動及び研究	[健康長寿] 基礎医学・臨床医学をそれぞれ

	澄 1	成果を活用した事業活動	れ融合した4専攻により、相補性ペプチド剤の開発、ヒトIgM抗体によるHIV治療法の開発、血漿HDL増加剤の開発など神経科学、悪性腫瘍、感染症、生活習慣病などの基礎的、臨床的研究を通じて中核的研究施設としての役割を果たしており、国際的にも高い評価を得ている。
薬学研究科	名古屋市瑞穂区田辺通3-1	「健康長寿」に関する研究活動及び研究成果を活用した事業活動	[健康長寿] 創薬生命科学、医療機能薬学の2専攻により、合成研究分野、薬剤・製剤、物理系分野、疾病予防治療分野、分子・細胞生物学分野において中核的研究施設としての研究成果をあげている。
経済学研究科	同上	「健康長寿」、「環境・エネルギー」、「ライフ・クオリティ」に関する研究活動及び研究成果を活用した事業活動	[健康長寿]、[環境・エネルギー]、[ライフ・クオリティ] 次世代産業分野についての技術移転、産学交流の推進など、科学技術政策や経済協力のあり方について中核的な研究を行い、国内企業の海外進出における競争力の強化を目指す実証的な研究を行っている。
人間文化研究科	同上	「ライフ・クオリティ」に関する研究活動及び研究成果を活用した事業活動	[ライフ・クオリティ] 発達認知神経科学的な観点から乳児の気質的個人差と環境要因の関係の研究について中核的研究施設であり、「気質的扱いにくさ」を持つ乳児を扱うためのノウハウと知育玩具の開発を産学の連携により進める。
芸術工学研究科	名古屋市千種区北千種2丁目1-10	「ライフ・クオリティ」、「IT」に関する研究活動及び研究成果を活用した事業活動	[ライフ・クオリティ] ユニバーサルデザインの観点から建物の安全や子供の視点からの建物環境、景観デザインの設計思想の構築等を行う中核的研究施設であり、外国人研究者との共同研究により、多角的な視点からのデザインの構築が可能となる。 [IT] 情報処理・情報工学的手法のもと幅広い設計問題を取り扱い、画像も含めた大規模データベースから抽出される最適設計に対する解法等の研究を行っている。

システム自然科学研究科	名古屋市瑞穂区瑞穂町字山の畑1	「バイオテクノロジー」、「IT」に関する研究活動及び研究成果を活用した事業活動	<p>[バイオテクノロジー] たんぱく質・核酸の構造と機能に関する基礎研究の中核的研究施設であり、微量測定系の開発から遺伝子工学に基づくたんぱく質産生系の構築まで広範な研究を行う。</p> <p>[IT] ヒューマンインターフェースの基礎と応用の研究を重点的に行っており、そこで生み出されるハードウェア、ITシステムの研究成果は産学共同により評価し改良を加え、新技術として社会に還元していく。</p>
-------------	-----------------	---	--

○機関名 大同工業大学

施設名	所在地	外国人の活動の内容	機関の概要
工学研究科	名古屋市南区滝春町10-3	「環境・エネルギー」、「ライフ・クオリティ」、「IT」に関する研究活動及び研究成果を活用した事業活動	<p>[環境・エネルギー] 燃料電池研究について地域の核となる研究施設であり、平成14年度より固体高分子形燃料電池システム技術開発事業（NEDOの委託事業）の一環として民間企業と共同研究を実施している。</p> <p>[ライフ・クオリティ] 高齢者施設の建設材料の脱臭効果を明らかにし、設計資料を整備する。</p> <p>[IT] 地域社会に密着した幅広い範囲を対象にシステム構築のみでなく情報機器と人との人間味豊かな関わりに重点を置いた研究を行う。</p>

○機関名 名城大学

施設名	所在地	外国人の活動の内容	機関の概要
理工学研究科	名古屋市天白区塩釜口1-501	「ナノテクノロジー」に関する研究活動及び研究成果を活用した事業活動	<p>[ナノテクノロジー] ナノカーボン及びナノナイトライド分野での世界最高レベルの研究者を擁する中核的研究施設であり、知的クラスター創成事業等を活用してナノ構造体の産業化のためのナノファクトリー創造センターの形成、ナノ構造体作製の世界的研究拠点形成に向けた研究開発を実施している。</p>

農学研究科	同上	「環境・エネルギー」、「バイオテクノロジー」に関する研究活動及び研究成果を活用した事業活動	[環境・エネルギー] 微生物の機能を利用した環境制御という分野において中核的研究施設であり、環境問題の課題解決や新産業発展へ寄与することを目指している。 [バイオテクノロジー] 微生物の機能を利用した新素材の実用化を目指している。
総合研究所	同上	「環境・エネルギー」、「バイオテクノロジー」に関する研究活動及び研究成果を活用した事業活動	[環境・エネルギー]、[バイオテクノロジー] 環境耐性生物の開発において中核的研究を行っており、名城大学アジア研究所、文部科学省社会連携研究推進事業を活用し、多数の遺伝子を導入した形質転換植物を作製し、その環境耐性機構の分子レベルでの解明を目指し学際的研究を推進している。
薬学研究科	名古屋市天白区八事山150	「健康長寿」に関する研究活動及び研究成果を活用した事業活動	[健康長寿] 文部科学省学術フロンティア整備事業を活用し、ストレス社会における「こころ」の問題の解決や21世紀の超高齢化社会における「こころ」と「脳」の問題を総合的に解決することを目指している。

○機関名 中部大学

施設名	所在地	外国人の活動の内容	機関の概要
工学研究科	春日井市松本町1200	「環境・エネルギー」、「IT」に関する研究活動及び研究成果を活用した事業活動	[環境・エネルギー] 低コスト化と高効率化が可能なカーボン薄膜太陽電池の研究開発について中核的研究施設であり、革新的次世代太陽光発電システム技術研究開発(NEDO)等のプロジェクトを活用し実用化を目指している。 [IT] ネットワークシステム構築法、ネットワークサービス構築法について、実用化まで含めた一連の研究開発を関連企業と連携して進めることにより、成果を大学内に留めることなく近隣地域の情報通信産業の育成を図っていく。

○機関名 名古屋産業大学

施設名	所在地	外国人の活動の内容	機関の概要
環境マネジメント研究科	尾張旭市新居町 3255-5	「環境・エネルギー」に関する研究活動及び研究成果を活用した事業活動	[環境・エネルギー] 県内で最初に ISO14001 の認証取得した大学として、経営面や社会活動面からの環境問題の研究について中核的な研究施設である。

○機関名 産業技術総合研究所（独立行政法人）

施設名	所在地	外国人の活動の内容	機関の概要
中部センター	名古屋市守山区下志段味穴ヶ洞 2266-98	「健康長寿」、「環境・エネルギー」に関する研究活動及び研究成果を活用した事業活動	[健康長寿] βリン酸三カルシウムの人体への応用研究を行い人工骨、人工関節あるいは快適義歯床の開発を行っている。 [環境・エネルギー] 光触媒の研究について中核的な研究施設であり、これを利用した環境浄化、排ガス浄化に取り組み、さらに建築物の省エネルギー建材、輸送機器の省エネルギーのための軽量金属の開発など地球環境問題の解決に幅広く取り組んでおり、光触媒及び植物成長剤においては既にベンチャー企業として企業化され、今後、更に進展が期待される。
瀬戸サイト	瀬戸市西茨町 110 番地	「健康長寿」、「環境・エネルギー」に関する研究活動及び研究成果を活用した事業活動	同 上

○機関名 理化学研究所（独立行政法人）

施設名	所在地	外国人の活動の内容	機関の概要
バイオ・ミメティックコントロール研究センター	名古屋市守山区大字下志段味字穴ヶ洞 2271-130	「ライフ・クオリティ」、「バイオテクノロジー」、「IT」に関する研究活動及び研究成果を活用した事業活動	[ライフ・クオリティ]、[バイオテクノロジー] バイオミメティックに関する研究の中核的研究施設であり、人間の生活を支援するため、人間とのやわらかい接触や未知の環境で柔軟に対応できる高機能ロボットを構築し、生活支援や介護での応用などを図る。 [IT]

			複数のコンピュータによる分散制御、ネットワークを介した遠隔操作、高速画像処理、音源分離等の研究を行っている。
--	--	--	--

- 4) 3の機関が出入国管理及び難民認定法別表第1の5の表の下欄の事業活動の要件を定める省令（平成18年法務省令第79号）に定める要件に該当するものであること並びにそのように判断した理由

3の機関は、高度な専門知識を必要とする「健康長寿」、「環境・エネルギー」、「ライフ・クオリティ」、「バイオテクノロジー」、「ナノテクノロジー」、「IT」の分野における研究を目的とし、既に高度な研究活動を行っており、これらの分野の研究を行うに必要な施設、設備その他十分な研究体制を整備している。

また3の機関はこれまで外国人研究者受入れ促進に資する特例措置を活用するなど外国人の在留に係る管理体制が充実している。

3の機関において、外国人研究者との共同研究などから生まれる研究成果は、新たなベンチャー企業の創出や既存企業の事業活動に相当程度利用されることが見込まれる。

- 5) 本支援措置を活用して取組む地域再生の内容

経済のグローバル化が進む中、地域産業の国際競争力強化を図るため、外国人研究者の受入環境を整備することが地域の課題となっている。

外国人研究者等に対する永住許可弾力化により、外国人研究者の日本における活動を側面的に支援し、新産業創出に資する幅広い活動の展開を図るとともに、他の地域再生事業の効果を高め、研究・技術開発の拡大と新規事業の創出・事業化を促進する。

【外国人研究者等に対する入国申請手続に係る優先処理事業】

1) 支援措置の番号及び名称

番号 B0502

名称 外国人研究者等に対する入国申請手続に係る優先処理事業

2) 支援措置を受けようとする者

下記3の施設において研究活動又は研究事業活動に従事又は従事予定の外国人研究者及びその家族

3) 対象となる機関

「健康長寿」、「環境・エネルギー」、「ライフ・クオリティ」、「バイオテクノロジー」、「ナノテクノロジー」、「IT」の分野に係る外国人研究者の受入れを促進することにより、即戦力となる国際レベルの優秀な人材を確保し、受入れ先における研究開発の活発化とその成果を生かした新産業の創出が見込まれる次に掲げる大学、研究機関

○機関名 国立大学法人名古屋大学

施設名	所在地	外国人の活動の内容	機関の概要
工学研究科	名古屋市千種区不老町	「健康長寿」、「環境・エネルギー」、「ナノテクノロジー」、「IT」に関する研究活動及び研究成果を活用した事業活動（当該外国人の扶養を受ける配偶者又は子としての活動を含む。）	<p>[健康長寿] 機能性磁性微粒子を利用したがん診断、治療の臨床応用に向けた開発を行っている。</p> <p>[環境・エネルギー] 自然界における造形物が有する固有の構造や形成過程を解明することで、人間生活に有用な材料を人工的に製造するプロセスを創成する。構造材料製造プロセスを新しい視点で省エネ、環境に適した方向への転換を目指している。</p> <p>[ナノテクノロジー] 微細加工・極薄膜のナノプロセス技術開発の中核的研究施設であり、プラズマ、デバイス、システムという異なる分野の連携により、ナノ情報デバイスを創出する。</p> <p>[IT] 聞く技術と見る技術を融合することにより知的なメディア処理機能の実現を目指している。</p>
生命農学研究科	同上	「健康長寿」、「環境・エネルギー」、「バイオテクノロジー」に関する研究活動及び研究成果を活用し	<p>[健康長寿] [バイオテクノロジー] 老化バイオマーカーの開発や、生活習慣病モデル動物の開発など食と健康に関する研究を展開</p>

		た事業活動（当該外国人の扶養を受ける配偶者又は子としての活動を含む。）	している。 [環境・エネルギー] [バイオテクノロジー] 遺伝子機能及びタンパク質の構造と機能の解明を中心とした作物や樹木を含む植物ポストゲノムバイオサイエンスを展開しており、次世代型植物バイオサイエンスの中核的研究施設として世界的な知的財産の構築を目指した研究を行っている。また、飢餓、環境破壊等の環境問題の解決に取り組む人材を養成するための研究体制や環境の先端化、高度化を進めている。
法学研究科	同上	「健康長寿」、「環境・エネルギー」、「ライフ・クオリティ」に関する研究活動及び研究成果を活用した事業活動（当該外国人の扶養を受ける配偶者又は子としての活動を含む。）	[健康長寿] [環境・エネルギー] [ライフ・クオリティ] アジアにおける体制移行国を中心とする国々の法と政治に関する研究、法整備支援ニーズの解析と支援方法の開発、法整備に携わる人的養成のためのプロジェクト実施を通じて、次世代産業分野における知的財産の保護、産学交流、産業振興に係る法律面での国際的研究コーディネートセンターとして、また地域の中核的研究施設としての役割を果たしている。
教育発達科学研究科	同上	「健康長寿」、「IT」に関する研究活動及び研究成果を活用した事業活動（当該外国人の扶養を受ける配偶者又は子としての活動を含む。）	[健康長寿] 医学系研究科との連携を図りながら少年犯罪に対するプロセスの解明する研究を中心として人間の心理的・社会的・身体的変化に対する要因を調査・研究する中で社会的犯罪に対する予防プログラムの作成等を行い、社会との連携を強化していく。 [IT] コンピュータ、マルチメディア、情報ネットワーク等の教育利用と情報教育・メディア教育に関する中核的研究施設として実証的研究を行うとともに、教育の情報化に関する基礎理論の構築を行う。
環境医学研究所	同上	「健康長寿」、「環境・エネルギー」、「バイオテクノロジー」に関する研究活動及	[健康長寿][環境・エネルギー] 近未来に予測されるさまざまな健康障害を、①超高齢社会の到来、②地球環境破壊による有害物

		<p>び研究成果を活用した事業活動（当該外国人の扶養を受ける配偶者又は子としての活動を含む。）</p>	<p>質の蓄積、③生活圏拡大の視点から捉え、過酷な環境の中で人々が安全、快適に生活し、健全な次世代を育てて行くための医学研究を目指している。平成 18 年に設立した「近未来環境シミュレーションセンター」では、我が国有数の大型特殊環境シミュレータを用いて、気象変動、酸素ストレス、閉鎖環境などが生体の自律機能や神経発達に及ぼす影響を解析している。</p> <p>[バイオテクノロジー]</p> <p>環境ストレスに対する生体の応答と適応・防御に関して、神経・免疫・内分泌系のネットワークによる恒常性維持の機構を解明すると共に、生命維持の根幹となる心臓・脳機能と発生・遺伝の障害に対する革新的な予防・治療法の開発を行っている。</p>
<p>エコトピア 科学研究所</p>	<p>同上</p>	<p>「健康長寿」、「環境・エネルギー」、「ナノテクノロジー」、「IT」に関する研究活動及び研究成果を活用した事業活動（当該外国人の扶養を受ける配偶者又は子としての活動を含む。）</p>	<p>[健康長寿]</p> <p>高度高齢化社会、バイオマテリアル、植物・微生物応用、ケミカルチップ、ナノ診療デバイス、バイオメカニクス、障害防止、生活介護支援、細胞・臓器再生。最小侵襲診断・治療システム等高齢化・医療政策等複数の研究グループによる健康で安全な質の高い人間生活を実現する研究開発を実施する。</p> <p>[環境・エネルギー][ナノテクノロジー]</p> <p>持続可能な社会（エコトピア）を実現するために、その基盤となるナノメータサイズの個体の物理と化学、その材料科学と生物学への応用研究の実施、種々のエネルギーを効率よくかつ地球環境にやさしく人間社会が利用できるシステムづくりに向けて新しいエネルギー科学の分野を開拓及び地球環境負荷物質や有害な難処理人工物の発生の抑制とともに無害化・再資源化処理による再利用のための技術開発を実施する。</p> <p>[IT]</p>

			人間の思考にまで踏み込んだ情報の理解・分析、複雑システム・現象の記述とモデル化、情報の交換・表示、マルチメディア情報の通信・伝送等情報通信分野全域をカバーした研究を推進する。
情報連携基盤センター	同上	「環境・エネルギー」、「IT」に関する研究活動及び研究成果を活用した事業活動（当該外国人の扶養を受ける配偶者又は子としての活動を含む。）	[環境・エネルギー] [IT] ユビキタス社会における情報基盤として、携帯端末・組み込み機器におけるソフトウェアの開発において国際競争力があり中核的研究施設である。今後PDAや情報家電等の情報端末間での安全で快適な情報交換を実現する基盤ソフトウェアを開発する。
農学国際教育協力研究センター	同上	「健康長寿」、「環境・エネルギー」に関する研究活動及び研究成果を活用した事業活動（当該外国人の扶養を受ける配偶者又は子としての活動を含む。）	[健康長寿] [環境・エネルギー] 環境・食糧・農業などの農学領域である国際的諸問題を実践的に解決する人づくり協力のプロジェクトと手法を開発し、国内外での人材養成を実現するためのナショナル・センターとしての機能を有しており、同時に中核的研究施設として、環境、健康・医療・福祉の問題へ対応するとともに、新産業技術の振興も図っている。
生物機能開発利用研究センター	同上	「環境・エネルギー」、「バイオテクノロジー」に関する研究活動及び研究成果を活用した事業活動（当該外国人の扶養を受ける配偶者又は子としての活動を含む。）	[環境・エネルギー] [バイオテクノロジー] 細胞表面に存在する膜ドメインを介する情報伝達における糖鎖の役割の解明等、機能性糖鎖についての中核的な研究施設であり、医学的・工学的・農学的応用分野に利用する中で環境、健康・医療・福祉の問題へ対応するとともに、新産業技術分野への適用も図っていく。
医学系研究科	名古屋市昭和区鶴舞町 65	「健康長寿」、「バイオテクノロジー」に関する研究活動及び研究成果を活用した事業活動（当該外国人の扶養を受ける配偶者又は子としての活動を含む。）	[健康長寿] [バイオテクノロジー] 名古屋市鶴舞地区において、ライフサイエンス分野と工学(生命農学)等の分野の連携・融合を図る研究の中核的な役割をはたしており、医療機器、先端医療、情報分野で事業化、ベンチャー創出を展開している。

○機関名 国立大学法人名古屋工業大学

施設名	所在地	外国人の活動の内容	機関の概要
工学研究科	名古屋市昭和区御器所町	「健康長寿」、「環境・エネルギー」、「ナノテクノロジー」、「IT」に関する研究活動及び研究成果を活用した事業活動（当該外国人の扶養を受ける配偶者又は子としての活動を含む。）	<p>[健康長寿] 名古屋大学医学系研究科とも連携し、工学と医学の異分野融合により新しい学問領域の開拓と新産業の創出を推進しており、名古屋市鶴舞地区を中心に医学工学連携の中核的な役割を担っている。</p> <p>[環境・エネルギー] エネルギーの再生・再利用あるいは循環を基本とする循環型スタイルの確立が社会の潮流となりつつある情勢を踏まえ、循環科学技術を創成し、循環型社会の実現に向けた研究に取り組んでいる。</p> <p>[ナノテクノロジー] 知的クラスター創成事業、21世紀COEプログラムを活用したナノテクノロジーの研究を推進し、新産業、ベンチャーの連鎖的発生環境の形成を目指し、併せて製造業全体の国際競争力の向上を図る。</p> <p>[IT] 人類社会環境の発展と調和を目指し先端的高度情報化の社会形成のための研究開発を行っているが、今後は、医療工学連携とともにユビキタスネットワーク社会の実現へと発展させていく。</p>

○機関名 愛知県公立大学法人愛知県立大学

施設名	所在地	外国人の活動の内容	機関の概要
情報科学研究科	愛知県長久手町大字熊張字茨ヶ廻間1522-3	「環境・エネルギー」、「IT」に関する研究活動及び研究成果を活用した事業活動（当該外国人の扶養を受ける配偶者又は子としての活動を含む。）	<p>[環境・エネルギー] [IT] 地理情報システムによる森林成長解析技術に関する中核的研究施設であり、里山の緑の保全システムの開発や里山の緑及び内湾域環境の保全システムの確立を行う。</p> <p>[IT] 移動体通信と有線通信の融合システムの開発を行っている。</p>

○機関名 公立大学法人名古屋市立大学

施設名	所在地	外国人の活動の内容	機関の概要
医学研究科	名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1	「健康長寿」に関する研究活動及び研究成果を活用した事業活動（当該外国人の扶養を受ける配偶者又は子としての活動を含む。）	[健康長寿] 基礎医学・臨床医学をそれぞれ融合した4専攻により、相補性ペプチド剤の開発、ヒトIgM抗体によるHIV治療法の開発、血漿HDL増加剤の開発など神経科学、悪性腫瘍、感染症、生活習慣病などの基礎的、臨床的研究を通じて中核的研究施設としての役割を果たしており、国際的にも高い評価を得ている。
薬学研究科	名古屋市瑞穂区田辺通3-1	「健康長寿」に関する研究活動及び研究成果を活用した事業活動（当該外国人の扶養を受ける配偶者又は子としての活動を含む。）	[健康長寿] 創薬生命科学、医療機能薬学の2専攻により、合成研究分野、薬剤・製剤、物理系分野、疾病予防治療分野、分子・細胞生物学分野において中核的研究施設としての研究成果をあげている。
経済学研究科	同上	「健康長寿」、「環境・エネルギー」、「ライフ・クオリティ」に関する研究活動及び研究成果を活用した事業活動（当該外国人の扶養を受ける配偶者又は子としての活動を含む。）	[健康長寿]、[環境・エネルギー]、[ライフ・クオリティ] 次世代産業分野についての技術移転、産学交流の推進など、科学技術政策や経済協力のあり方について中核的な研究を行い、国内企業の海外進出における競争力の強化を目指す実証的な研究を行っている。
人間文化研究科	同上	「ライフ・クオリティ」に関する研究活動及び研究成果を活用した事業活動（当該外国人の扶養を受ける配偶者又は子としての活動を含む。）	[ライフ・クオリティ] 発達認知神経科学的な観点から乳児の気質的個人差と環境要因の関係の研究について中核的研究施設であり、「気質的扱いにくさ」を持つ乳児を扱うためのノウハウと知育玩具の開発を産学の連携により進める。
芸術工学研究科	名古屋市千種区北千種2丁目1-10	「ライフ・クオリティ」、「IT」に関する研究活動及び研究成果を活用した事業活動（当該外国人の扶養を受ける配偶者又は子としての活動を含む。）	[ライフ・クオリティ] ユニバーサルデザインの観点から建物の安全や子供の視点からの建物環境、景観デザインの設計思想の構築等を行う中核的研究施設であり、外国人研究者との共同研究により、多角的な視点からのデザインの構築が可能となる。 [IT] 情報処理・情報工学的手法のもと幅広い設計問題を取り扱

			い、画像も含めた大規模データベースから抽出される最適設計に対する解法等の研究を行っている。
システム自然科学研究科	名古屋市瑞穂区瑞穂町字山の畑1	「バイオテクノロジー」、「IT」に関する研究活動及び研究成果を活用した事業活動（当該外国人の扶養を受ける配偶者又は子としての活動を含む。）	<p>[バイオテクノロジー] たんぱく質・核酸の構造と機能に関する基礎研究の中核的研究施設であり、微量測定系の開発から遺伝子工学に基づくたんぱく質産生系の構築まで広範な研究を行う。</p> <p>[IT] ヒューマンインターフェースの基礎と応用の研究を重点的に行っており、そこで生み出されるハードウェア、ITシステムの研究成果は産学共同により評価し改良を加え、新技術として社会に還元していく。</p>

○機関名 大同工業大学

施設名	所在地	外国人の活動の内容	機関の概要
工学研究科	名古屋市南区滝春町10-3	「環境・エネルギー」、「ライフ・クオリティ」、「IT」に関する研究活動及び研究成果を活用した事業活動（当該外国人の扶養を受ける配偶者又は子としての活動を含む。）	<p>[環境・エネルギー] 燃料電池研究について地域の核となる研究施設であり、平成14年度より固体高分子形燃料電池システム技術開発事業（NEDOの委託事業）の一環として民間企業と共同研究を実施している。</p> <p>[ライフ・クオリティ] 高齢者施設の建設材料の脱臭効果を明らかにし、設計資料を整備する。</p> <p>[IT] 地域社会に密着した幅広い範囲を対象にシステム構築のみでなく情報機器と人との人間味豊かな関わりに重点を置いた研究を行う。</p>

○機関名 豊田工業大学

施設名	所在地	外国人の活動の内容	機関の概要
工学研究科	名古屋市天白区久方2-12-1	「環境・エネルギー」、「ライフ・クオリティ」、「ナノテクノロジー」、「IT」に関する研究活動及び研究成果を活用した事業活動（当該外	<p>[環境・エネルギー] NEDOの太陽光発電システム未来技術研究開発事業を活用し、不純物の多い低コストシリコン原料を用いたインゴット結晶成長技術の開発や InGaN 系モノリシック太陽電池の開発等を</p>

		<p>国人の扶養を受ける配偶者又は子としての活動を含む。)</p>	<p>行っている。 [ライフ・クオリティ] 文部科学省ハイテク・リサーチ・センター整備事業を活用し、惑星探査用ロボットの実現をキーワードとした制御、通信、材料、潤滑、加工、設計支援技術などの研究を行い、この成果をもとに地上民生技術へのスピノフを展開している。 また、人間の持つ感覚および知能を工学的に代替又は補完する手法を情報科学と素子工学の両面から開発し、人間の安全や福祉に貢献するための研究も行っている。 [ナノテクノロジー] 文部科学省学術フロンティア推進事業を活用し、紫外光記録磁性薄膜先端材料の研究・開発や原子制御を行った磁性人工格子膜による超高密度磁気記録材料の研究を行っている。 文部科学省ハイテク・リサーチ・センター整備事業を活用し、走査トンネル顕微鏡をはじめとした固体表面の構造、電子状態、組成などをナノレベルで観察する技術を基に顕微システムを使用したガス分子や金属原子との接触により新しい機能の発現を目的とした研究を行っている。 文部科学省社会連携研究推進事業を活用し、高分子の複雑な構造物性相関を分子レベルから徹底的に解明するための研究を行っている。 [IT] 文部科学省ハイテク・リサーチ・センター整備事業を活用し、高機能シリカガラスの開発、光非線形ガラス材料の研究、超広帯域光増幅媒体の研究などのフォトニクス材料の研究や光波を創生制御するための基盤材料の研究を行っている。</p>
--	--	-----------------------------------	--

○機関名 名城大学

施設名	所在地	外国人の活動の内容	機関の概要
理工学研究	名古屋市天白	「ナノテクノロジー」	[ナノテクノロジー]

科	区塩釜口1-501	一」に関する研究活動及び研究成果を活用した事業活動（当該外国人の扶養を受ける配偶者又は子としての活動を含む。）	ナノカーボン及びナノナイトライド分野での世界最高レベルの研究者を擁する中核的研究施設であり、知的クラスター創成事業等を活用してナノ構造体の産業化のためのナノファクトリー創造センターの形成、ナノ構造体作製の世界的研究拠点形成に向けた研究開発を実施している。
農学研究科	同上	「環境・エネルギー」、「バイオテクノロジー」に関する研究活動及び研究成果を活用した事業活動（当該外国人の扶養を受ける配偶者又は子としての活動を含む。）	[環境・エネルギー] 微生物の機能を利用した環境制御という分野において中核的研究施設であり、環境問題の課題解決や新産業発展へ寄与することを目指している。 [バイオテクノロジー] 微生物の機能を利用した新素材の実用化を目指している。
総合研究所	同上	「環境・エネルギー」、「バイオテクノロジー」に関する研究活動及び研究成果を活用した事業活動（当該外国人の扶養を受ける配偶者又は子としての活動を含む。）	[環境・エネルギー]、[バイオテクノロジー] 環境耐性生物の開発において中核的研究を行っており、名城大学アジア研究所、文部科学省社会連携研究推進事業を活用し、多数の遺伝子を導入した形質転換植物を作製し、その環境耐性機構の分子レベルでの解明を目指し学際的研究を推進している。
薬学研究科	名古屋市天白区八事山150	「健康長寿」に関する研究活動及び研究成果を活用した事業活動（当該外国人の扶養を受ける配偶者又は子としての活動を含む。）	[健康長寿] 文部科学省学術フロンティア整備事業を活用し、ストレス社会における「こころ」の問題の解決や21世紀の超高齢化社会における「こころ」と「脳」の問題を総合的に解決することを目指している。

○機関名 中部大学

施設名	所在地	外国人の活動の内容	機関の概要
工学研究科	春日井市松本町1200	「環境・エネルギー」、「IT」に関する研究活動及び研究成果を活用した事業活動（当該外国人の扶養を受ける配偶者又は子としての活動を含む。）	[環境・エネルギー] 低コスト化と高効率化が可能なカーボン薄膜太陽電池の研究開発について中核的研究施設であり、革新的次世代太陽光発電システム技術研究開発（NEDO）等のプロジェクトを活用し実用化を目指している。 [IT]

			ネットワークシステム構築法、ネットワークサービス構築法について、実用化まで含めた一連の研究開発を関連企業と連携して進めることにより、成果を大学内に留めることなく近隣地域の情報通信産業の育成を図っていく。
--	--	--	---

○機関名 愛知工業大学

施設名	所在地	外国人の活動の内容	機関の概要
工学研究科	豊田市八草町八千草 1247	「環境・エネルギー」、「IT」に関する研究活動及び研究成果を活用した事業活動（当該外国人の扶養を受ける配偶者又は子としての活動を含む。）	[環境・エネルギー] [IT] 21世紀を支えるための新材料開発に関する中核的な研究施設であり、環境、エネルギー、情報の3グループに別けて、研究を推進している。 環境分野では、環境保全改良に資する光触媒を始めとした材料の開発を行っている。 エネルギー分野では、二次電池の高性能化のための新規材料の開発等を行っている。 情報通信分野では、大容量で高速な有機光機能素子の実用化研究を行っている。

○機関名 名古屋産業大学

施設名	所在地	外国人の活動の内容	機関の概要
環境マネジメント研究科	尾張旭市新居町 3255-5	「環境・エネルギー」に関する研究活動及び研究成果を活用した事業活動（当該外国人の扶養を受ける配偶者又は子としての活動を含む。）	[環境・エネルギー] 県内で最初に ISO14001 の認証取得した大学として、経営面や社会活動面からの環境問題の研究について中核的な研究施設である。

○機関名 産業技術総合研究所（独立行政法人）

施設名	所在地	外国人の活動の内容	機関の概要
中部センター	名古屋市守山区下志段味穴ヶ洞 2266-98	「健康長寿」、「環境・エネルギー」に関する研究活動及び研究成果を活用した事業活動（当該外国人の扶養を受ける配偶者又は子としての活動を含む。）	[健康長寿] βリン酸三カルシウムの人体への応用研究を行い人工骨、人工関節あるいは快適義歯床の開発を行っている。 [環境・エネルギー] 光触媒の研究について中核的な研究施設であり、これを利用した環境浄化、排ガス浄化に取り組み、さらに建築物の省エネルギー建材、輸送機器の省エネルギー

			ギーのための軽量金属の開発など地球環境問題の解決に幅広く取り組んでおり、光触媒及び植物成長剤においては既にベンチャー企業として企業化され、今後、更に進展が期待される。
瀬戸サイト	瀬戸市西茨町 110番地	「健康長寿」、「環境・エネルギー」に関する研究活動及び研究成果を活用した事業活動（当該外国人の扶養を受ける配偶者又は子としての活動を含む。）	同上

○機関名 理化学研究所（独立行政法人）

施設名	所在地	外国人の活動の内容	機関の概要
バイオ・ミメティックコントロール研究センター	名古屋市守山区大字下志段味字穴ヶ洞 2271-130	「ライフ・クオリティ」、「バイオテクノロジー」、「IT」に関する研究活動及び研究成果を活用した事業活動（当該外国人の扶養を受ける配偶者又は子としての活動を含む。）	[ライフ・クオリティ]、[バイオテクノロジー] バイオミメティックに関する研究の中核的研究施設であり、人間の生活を支援するため、人間とのやわらかい接触や未知の環境で柔軟に対応できる高機能ロボットを構築し、生活支援や介護での応用などを図る。 [IT] 複数のコンピュータによる分散制御、ネットワークを介した遠隔操作、高速画像処理、音源分離等の研究を行っている。

○機関名 大学共同利用機関法人自然科学研究機構

施設名	所在地	外国人の活動の内容	機関の概要
基礎生物学研究所	岡崎市明大寺町字西郷中 38番地	「ライフ・クオリティ」、「バイオテクノロジー」に関する研究活動及び研究成果を活用した事業活動（当該外国人の扶養を受ける配偶者又は子としての活動を含む。）	[ライフ・クオリティ] [バイオテクノロジー] 生物現象の本質を分子細胞レベルで解明することをめざし、細胞生物学、発生生物学、神経生物学、進化多様性生物学、環境生物学、理論生物学、イメージングサイエンスの7つの研究領域にわたる幅広い研究活動を行っている。
生理学研究所	岡崎市明大寺町字西郷中 38番地	「健康長寿」、「ライフ・クオリティ」に関する研究活動及び研究成果を活用した事業活動（当該外国	[健康長寿] [ライフ・クオリティ] 生理学に関する総合研究を行うことを目的とする。人体の生命活動の総合的な解明を究極の

		人の扶養を受ける配偶者又は子としての活動を含む。)	目標とし、随意運動の中枢機構、視覚聴覚等の情報処理、神経系の発生及び可塑性、興奮・分泌・輸送の分子機構等の究明を通じ、人体及び高等動物の生理機能について分析的、総合的な研究を行っている。
分子科学研究所	岡崎市明大寺町字西郷中 38 番地	「環境・エネルギー」、「ナノテクノロジー」、「IT」に関する研究活動及び研究成果を活用した事業活動（当該外国人の扶養を受ける配偶者又は子としての活動を含む。）	[環境・エネルギー] [ナノテクノロジー] [IT] 物質の基礎である分子の構造とその機能に関する実験的研究及び理論的研究を行っている。 分子の形成と変化に関する原理、分子と光との相互作用、分子を通じて行われるエネルギー変換の機構等に関する研究の推進により、物質循環の原理に立つ新しい科学・技術の開発に貢献している。

- 4) 3の機関が出入国管理及び難民認定法別表第1の5の表の下欄の事業活動の要件を定める省令（平成18年法務省令第79号）に定める要件に該当するものであること並びにそのように判断した理由

3の機関は、高度な専門知識を必要とする「健康長寿」、「環境・エネルギー」、「ライフ・クオリティ」、「バイオテクノロジー」、「ナノテクノロジー」、「IT」の分野における研究を目的とし、既に高度な研究活動を行っており、これらの分野の研究を行うに必要な施設、設備その他十分な研究体制を整備している。

また3の機関はこれまで外国人研究者受入れ促進に資する特例措置を活用するなど外国人の在留に係る管理体制が充実している。

3の機関において、外国人研究者との共同研究などから生まれる研究成果は、新たなベンチャー企業の創出や既存企業の事業活動に相当程度利用されることが見込まれる。

- 5) 本支援措置を活用して取組む地域再生の内容

経済のグローバル化が進む中、地域産業の国際競争力強化を図るため、外国人研究者の受入環境を整備することが地域の課題となっている。

外国人研究者等に対する入国申請手続きに係る優先処理により優秀な外国人研究者が増加することで、経験や発想の異なる外国人研究者からの触発や外国人研究者との共同研究を促進し、地域における産学官連携の充実強化とこれまでにない新たなシーズの創出を図るとともに、他の地域再生事業の効果を高め、研究・技術開発の拡大と新規事業の創出・事業化を促進する。

【地域新生コンソーシアム】

1) 支援措置の番号及び名称

番号 B1101

名称 地域新生コンソーシアム研究開発事業

2) 支援措置を受けようとする者

愛知県内において次世代産業を創出するため、「愛知県産業創造計画」が示す戦略的重点分野において、大学等の技術シーズや知見を活用した産学官の強固な共同研究体制（地域新生コンソーシアム）を組み、実用化に向けた高度な研究開発を実施するプロジェクト管理法人（財団法人科学技術交流財団など）・大学・企業等

3) 当該支援措置を受けて実施し又はその実施を促進しようとする取組みの内容

大学等の技術シーズや知見を活用して、産学官の共同研究体制により実用化を目指す高度な研究開発を、地域新生コンソーシアム研究開発事業を活用して推進し、「愛知県産業創造計画」において戦略的重点分野として示された次世代産業の創出や先進的な基盤技術の研究開発の促進に寄与する。

4) 当該支援措置が計画の目的達成に不可欠な理由

愛知県内において、次世代産業を創出するためには、大学等の技術シーズや知見を活用した産学官の強固な研究体制のもとで実施される実用化に向けた高度な研究開発を支援することが必要であり、地域新生コンソーシアム研究開発事業の採択に当たって、一定程度配慮される当該支援措置は不可欠である。

【地域新規産業創造技術開発費補助事業】

1) 支援措置の番号及び名称

番号 B1102

名称 地域新規産業創造技術開発費補助事業

2) 当該支援措置を受けようとする者

愛知県内において次世代産業を創出するため、「愛知県産業創造計画」が示す戦略的重点分野において、リスクの高い実用化技術開発を実施する企業。

3) 当該支援措置を受けて実施し又はその実施を促進しようとする取組みの内容

リスクの高い実用化技術開発を実施する企業を、地域新規産業創造技術開発費補助事業を活用して支援し、「愛知県産業創造計画」において戦略的

重点分野として示された次世代産業の創出や先進的な基盤技術の研究開発の促進に寄与する。

4) 当該支援措置が計画の目的達成に不可欠な理由

愛知県内において、次世代産業を創出するためには、リスクの高い実用化技術開発を実施する企業の支援を実施することが必要であり、地域新規産業創造技術開発費補助事業の採択に当たって、一定程度配慮される当該支援措置は不可欠である。

【日本政策投資銀行の低利融資等】

1) 支援措置の番号及び名称

番号 C0701

名称 日本政策投資銀行の低利融資等

2) 支援措置を受けようとする者

「愛知県産業創造計画」が示す戦略的重点分野において、新規又は既存技術・ノウハウ等を活用しつつ事業を営もうとする企業又は営む企業

3) 当該支援措置を受けて実施し又はその実施を促進しようとする取組みの内容

愛知県内において、次世代産業を創出するため、日本政策投資銀行による金融面での判断を経た上で同行の低利融資等を利用し、次世代産業の創出に寄与する事業の推進を支援する。

4) 合致する日本政策投資銀行の投融資指針に定める事業

「技術・経済活力創造」のうち新産業創出・活性化事業、新技術開発事業等

5) 支援措置が計画の目的達成に不可欠な理由

戦略的重点分野における企業が新製品・新技術を開発するための資金需要や事業リスクの低減などに対応するため、この支援措置は不可欠と考える。

6) 融資を受けようとする事業等の概要及び日本政策投資銀行の融資要件との関係

愛知県内において、「愛知県産業創造計画」が戦略的重点分野として示す次世代産業分野や基盤技術分野において、新産業・新事業創出に取り組む企業による事業化を推進するために、本制度を活用する。

【地域再生に資するNPO等の活動支援】

1) 支援措置の番号及び名称

番号 C2001

名称 地域再生に資するNPO等の活動支援

2) 支援措置の内容

人材育成事業

3) 支援措置の対象とする事業の内容

東海地域のバイオ関連産業振興に資する人材を育成することを目的として、主に団塊世代の企業退職者等を対象に下記の研修等を実施する。

- ① 事業化・起業支援人材のリクルート活動
- ② バイオ・コーディネーター基礎研修
- ③ 知的財産権研修
- ④ バイオベンチャー起業支援研修

4) 支援を受けるNPO法人

特定非営利活動法人バイオものづくり中部

5) 平成19年度事業

① 事業化・起業支援人材のリクルート活動

実施予定時期 平成19年8月

実施予定場所 あいちNPO交流プラザ（名古屋市）

実施予定事業 説明会

- ・コーディネーターの業務について
- ・バイオベンチャー起業支援業務
- ・コーディネーターの生きがい
- ・コーディネーターへの道

② バイオ・コーディネーター基礎研修

実施予定時期 平成19年8月から9月 5回

実施予定場所 名古屋大学インキュベーション施設

実施予定カリキュラム

- ・コーディネーター業務とは
- ・コーディネーター業務に必要な能力
- ・バイオ分野の特許審査基準
- ・バイオ分野の知的財産（特許以外）
- ・事業化可能性調査
- ・共同研究プロジェクトの作り方
- ・守秘義務契約と共同研究契約
- ・研究開発マネジメント
- ・公的助成金申請書の書き方（実習）

③ 知的財産権研修

実施予定時期 平成19年10月 4回

実施予定場所 名古屋大学インキュベーション施設

実施予定カリキュラム

- ・ 知的財産法の体系
- ・ 特許明細書の書き方
- ・ 関連特許調査（実習）
- ・ 特許の出願以降の流れと対応
- ・ 国際出願
- ・ パテントマップの作成と特許戦略
- ・ 特許の売り方
- ・ ライセンス交渉と契約

④ バイオベンチャー起業支援研修

実施予定時期 平成19年10月から平成19年12月

実施予定事業

- ・ ベンチャーヒアリング 1回
- ・ 事業化計画発表会 4回

6) 平成20年度以降の事業

受講生負担を導入し、一部の研修を継続実施することを検討。

7) 当該支援措置が計画の目的達成に不可欠な理由

愛知県内にけるバイオ産業の振興を図るためには、バイオベンチャーの事業化を支援できる人材の育成が喫緊の課題となっており、この課題解決のため当該支援措置は不可欠と考える。

【地域再生支援のための「特定地域プロジェクトチーム」の編成】

1) 支援措置の番号及び名称

番号 C3003

名称 地域再生支援のための「特定地域プロジェクトチーム」の編成

2) 当該支援措置を受けようとする者

愛知県

3) 当該支援措置を受けて実施し又はその実施を促進しようとする取組の内容

構成 あいちベンチャー企業等総合支援チーム

国（総務省東海総合通信局、農林水産省東海農政局、経済産業省中部経済産業局）・愛知県・関係市町村・民間支援機関等

取組課題 ○ 地域全体の次世代産業創出に向けた取組み状況の把握、課題の洗い出しを行い、各構成団体の事業の効果的な実施に向けた協議を行う。とくに先に掲げた3つの課題解決に重点を置くこととする。

- この計画の目的達成に必要な新たな事業を考案するために、総務省・農林水産省・経済産業省の支援措置・関連施策に関する情報を入手し、具体的な事業の立案・実施に向け、各構成団体の協力関係を構築する。なお、新事業の検討にあたっては、産業クラスター、知的クラスター、食料産業クラスターとの連携を考慮する。
- この計画の目的達成に必要と考えられる新たな支援措置・規制緩和等について、関係市町村、民間支援機関等の意見を聴取し、検討した上で提案する。
- 「愛知県産業創造計画」が示す戦略的重点分野のベンチャー企業等を対象とし、各構成団体が参加する相談会等を開催することにより、各構成団体が有する各種支援策を効果的に活用し、これらの企業に対する総合的かつ集中的な支援を実施する。

4) 当該支援措置が計画の目的達成に不可欠な理由

地域全体の次世代産業創出に向けた取組みの状況を踏まえた上で、計画の目的達成に必要な事業を検討・考案するに当たり、国の支援措置その他関連施策に係る情報の入手や相談を効果的に行う必要があり、また各構成団体がもつ支援策をベンチャー企業等の側に立って利用しやすくするために、当該支援措置は不可欠と考える。

5-3-2 愛知県の独自の取組み

基本方針に基づく支援措置を活用するほか、この計画の目標を達成するため、以下の事業を「愛知県産業創造計画」が示す戦略的重点分野の次世代産業の創出、ベンチャー企業等への支援に力点をおいて行う。

1) 研究交流・共同研究事業

地域の産・学・行政の緊密な連携により、(財)科学技術交流財団を中心に研究交流・共同研究を推進する。

2) 中小・ベンチャー企業の技術開発支援事業

中小・ベンチャー企業が実施する新技術・新商品開発を対象に助成を行う。

3) あいちベンチャーファンド事業

民間企業(18社)とともに設立した「あいちベンチャーファンド」により、株式公開を目指す県内ベンチャー企業等に対し、投資及び経営支援を行う。

4) あいちベンチャーハウス事業

次世代産業の担い手として期待されるITベンチャー企業の育成、支援等を総合的に展開するインキュベート施設として「あいちベンチャーハウス」を運営する。

5) 次世代産業市場開拓支援事業

次世代産業分野において、将来の成長が期待できる優れた商品を有するものの、新規性が高いことなどから市場（販路）開拓に苦慮している企業に対し、市場開拓の専門機関による商品評価、市場調査、販売先紹介等を実施する。

6) ベンチャー企業等支援資金

経営革新や新事業創出に取り組むベンチャー企業等の資金調達を円滑化するため、「ベンチャー企業等支援資金」により事業資金を融資する。

7) 新事業支援体制（地域プラットフォーム）

（財）あいち産業振興機構を中核的支援機関として、同機構を含む県内29の支援機関がそれぞれの機能、役割を明確にしつつ、相互の連携を強化し、下記事業を実施する。

① スタートアップ支援事業

ベンチャー企業等のスタートアップを支援するため、新事業コーディネーターを設置するほか、ベンチャースピリット養成塾を開催する。

② 有望ビジネス支援事業

スタートアップ時期にある起業家とエンジェル・ベンチャーキャピタル、金融機関、民間支援機関などとの定期的な交流会・研究会を開催する。

③ 新産業チャレンジ交流会

新事業展開に意欲のあるベンチャー企業等を対象に、新産業チャレンジ交流会を開催する。

④ 創業プラザ事業

意欲のある起業家予備軍の創業を支援するため、創業準備をする場所を提供するとともに情報提供を行う「創業プラザあいち」を運営する。

8) 健康長寿産業クラスター創生事業

健康長寿分野における高度な研究集積を活かして、地域における関係機関の緊密な相互連携のもとに、超高齢社会を支え人々の健康長寿を実現する関連産業の創造及び企業集積を図る。

5-3-3 その他の取組み

【国民生活金融公庫の新創業融資】

愛知県内において、「愛知県産業創造計画」が示す戦略的重点分野において新

製品・新技術開発等に取り組む企業に対して、国民生活金融公庫の「新創業融資制度」（自己資金要件の緩和）を利用し、次世代産業の創出を支援する。

○適用する戦略的重点分野の概要

区 分	内 容
次世代産業分野	健康長寿産業 医療機器、福祉機器、再生医療、医薬品、健康・機能性食品、健康支援サービスなどの高齢化社会の進展に対応した産業。
	環境・エネルギー産業 3R（リサイクル、リユース、リデュース）・製品のライフサイクル・地球環境負荷低減に関連する技術・製品及び再生可能エネルギーなどの新エネルギーに関連する産業。
	ライフ・クオリティ産業 （デジタルコンテンツ） 設計や生産現場で幅広く活用されている3次元CADやCGなどモノづくりの中で培われた技術を駆使したデジタルコンテンツに関連する産業。 （デザイン） 高齢社会に向けたユニバーサルデザイン、環境負荷の少ない社会に対応したエコロジーデザインの製品開発などモノづくりにおけるデザインに関連する産業。 （パートナーロボット） 生活分野・公共分野・医療福祉分野などにおいて幅広い活動を支援するロボット（会話型ロボット、介護ロボット、家事代行ロボットなど）などのパートナーロボットに関連する産業。
バイオテクノロジー	いろいろな生物が持つ働きを、人間生活に役立つように利用するもので、医療、食品、農業、環境関連など様々な分野に応用可能な基盤技術。
ナノテクノロジー	ナノメートル(10 ⁻⁹ m)で定義できる物質を創製、自在に制御し、またそれらの物

基盤技術分野		質の性質や機能を組み合わせ、材料、IT、エレクトロニクス、医療、環境・エネルギーなど幅広い分野に応用できる基盤技術。
	IT	コンピュータやデータ通信に関する技術で、生産現場を高能率化、製品を高付加価値化し、競争力を高めるために不可欠な基盤技術。

6 計画期間

認定の日から平成23年3月末まで

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

大学等関係機関の協力を得て、毎年度、共同研究の実施件数や大学発ベンチャーの設立状況を把握しつつ、計画期間満了後、愛知県において、この計画の4に示す目標の達成状況について調査、評価を行い、記者発表や県のホームページ掲載等適切な方法により公表する。

8 地域再生計画の実施に関し当該地方公共団体が必要と認める事項

特になし